

北区地域福祉計画 令和元年度 達成目標

取り組みの柱	重点目標	平成30年度の成果 (31.3末現在)	令和元年度の課題	達成目標
1. 相談・支援（サービス）の充実	①「まちともサービス」による生活支援サービスの充実	<p>【北区社会福祉協議会へ委託】</p> <p>■サポーター向けアンケート調査を実施し課題の抽出をした</p> <p>■長期間・長時間利用者等の再アセスメントのしくみづくりに向けて、マニュアル作成とシステム化導入に着手した</p> <ul style="list-style-type: none"> *利用会員 215名 *サポート会員 146名 *延べ利用回数 1,914回 *延べ利用時間 3,951時間 *依頼内容 1位は掃除、2位は通院の付添 *サポーター養成講座 7回開催（述べ49名が参加し、内24名が登録） <p>【区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区広報紙に定期的に「まちともサービス」の広報記事を掲載。また転入者向けバックにチラシを入れ、事業の周知を図った 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続きサポーター養成講座を地域に出向いて行うなど、効率的な開催の継続 ■システム及びマニュアルの導入 ■制度趣旨に基づいたサービスの周知など事業課題の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ■多くの地域でサポーター養成講座を開催し、サポート会員の増加をめざす ■システム及びマニュアルの導入 ■利用方法など制度の周知
	②生活困窮者のための自立相談支援機能の充実	<p>【大阪市より北区社会福祉協議会へ委託】</p> <p>■よりそいサポートきた相談窓口とコミュニティソーシャルワーカーとの連携により、アウトリーチによる支援につなげた</p> <ul style="list-style-type: none"> *新規相談実件数 299件 *支援調整回数 157件 *CSWとの連携 7件 *貸付などの相談をアンテナとして複合課題を抱えた世帯を早期把握しコミュニティソーシャルワーカーと連携して役割分担をしながら、迅速かつ総合的なアプローチをしている <p>■出張相談会の実施 10回</p> <p>■支援者向けハンドブックの作成・配布を通じて関係機関との有機的な関係を構築した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者と作成編集会議を重ね、インタビュー会を経て発行した ・各関係機関等へ配布し、連携を図った。（発行配布500部） <p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員事務局と連携し、地区民生委員協議会会議に出席（10回） 	<ul style="list-style-type: none"> ■よりそいサポートきた相談窓口の認知度向上 ■ハンドブックの活用方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■出張相談会の拡充 ■ハンドブック作成関係者との連携継続と拡充
	③コミュニティソーシャルワーカーによる地域福祉活動への支援の充実	<p>【北区社会福祉協議会へ委託】</p> <p>■コミュニティソーシャルワーカーの配置により、アウトリーチによるニーズの発見と包括的支援の充実が図れた</p> <ul style="list-style-type: none"> *相談件数：2,809件 *スーパーバイザーと区役所（子育て支援室）との連携 *福祉ニーズに理解のある不動産業者とのネットワークを広げた *まちともサポーターとの連携により、潜在していたニーズをアウトリーチできた *マンションコミュニティによる高齢者食事サービスに参加し、アウトリーチができた *関係者との情報共有会議を開催した（大淀西地域） 	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校区ごとの継続的な配置 ■コミュニティソーシャルワーカーの人材確保 ■地域事情に応じたアプローチの継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■継続的な配置 ■専門性向上のため、スーパーバイザーの継続配置
	④スクールソーシャルワーカーによる学校、地域等への支援の充実	<p>【北区社会福祉協議会へ委託】</p> <p>■スクールソーシャルワーカーの配置により、不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりが図れた</p> <ul style="list-style-type: none"> *区内各小・中学校に拠点を置き、関係機関をはじめ、コミュニティソーシャルワーカーとも連携して、課題解決に向け調整を行った（H30年度に1名増員し2名体制） *支援延人数 1600名（幼稚園16名、小学校816名、中学校694名、高校72名、特別支援学校2名） *校内、関係機関とのケース会議164回 *定期訪問校 中学校 5校全校 小学校 11校中 9校 	<ul style="list-style-type: none"> ■継続的な配置と体制の強化 ■効果的・効率的な情報共有の方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■継続的な配置 ■コミュニティソーシャルワーカーをはじめとした日常的な連携手法を検討する
	⑤専門的な相談・サービスの円滑な提供	<p>【北区社会福祉協議会へ委託】</p> <p>■地域福祉コーディネーターの配置により、身近なところで相談できる体制づくりが構築されつつある</p> <ul style="list-style-type: none"> *地域福祉コーディネーターを16地域に配置し、地域での見守りを通してアウトリーチを行った *見守り相談件数 10,267件 *毎月1回連絡会を開催し、情報共有や事例検討を行いスキルの向上を図った *「精神保健に関するケース～対応のコツ～」等の研修を実施した *地域支援連絡会議に参画し、地域の課題を専門職と一緒に検討することにより顔の見える関係を築き、互いの役割を確認した *11地域でコミュニティソーシャルワーカーによる出張相談を開催 相談件数：72件 	<ul style="list-style-type: none"> ■報告内容の詳細を更に検討 ■情報交換や研修の継続と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域福祉コーディネーターの研修を充実 ■地域福祉コーディネーターの地域支援連絡会議への参画 ■コーディネーター連絡会を活用した活動内容の共有

北区地域福祉計画 令和元年度 達成目標

取り組みの柱	重点目標	平成30年度の成果 (31.3末現在)	令和元年度の課題	達成目標
2. 小地域での福祉活動の推進・強化	①小地域福祉活動計画に基づく計画的・効果的な活動推進	<p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <p>■地域社協会長会の活用や地域で開催される会議等で説明等を行い、2地域で小地域福祉活動計画を策定した *30年度策定 2地域（本庄地域、済美地域） *29年度までに策定済 7地域（豊崎・北天満・中津・豊崎東・大淀東・大淀西・梅田東地域）</p> <p>■小地域福祉活動計画発表会で策定後の振り返りや計画策定状況の報告を行った（3月1日）</p> <p>【北区社会福祉協議会】</p> <p>■策定済の事業計画に基づいた事業を支援した（大淀西地域、大淀東地域、梅田東地域、豊崎東地域、豊崎地域）</p> <p>■子育てサロンの立ち上げを支援した（堀川地域）</p> <p>■子育て世帯向け災害学習会を開催することにより、地域の子育てサロンへの参加につなげることができた（滝川地域、大淀東地域）</p>	<p>■小地域福祉活動計画の策定状況に関わらず各小地域での活動を支援する</p> <p>■小地域福祉活動計画策定地域における振り返りサポート及び地域でのPDCAによる進捗管理の支援継続</p>	<p>■区社協と連携を強化し、小地域福祉活動計画の実践の報告、情報共有を進めることで、計画策定にいたらないまでも小地域での活動を推進する</p> <p>■小地域福祉活動計画策定地域において、振り返りのサポートを実施し、地域でのPDCAによる進捗管理の支援を行う</p>
	②地域での居場所づくりの充実	<p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <p>◇小地域福祉活動計画策定等を通して地域のニーズを把握し、地域での居場所づくりにつなげることができた こどもの居場所運営に寄与した（区委託事業） 当事者44人（延べ参加者数911人）保護者18人（延べ参加者数154人）地域ボランティア17人（延べ参加人数271人） 28年4月～「なごみのうつわ」（なごみのうつわ運営協議会） 29年4月～「あすなるハウス」（あすなるハウス運営協議会） 30年4月～「家っしー」（家っしー運営協議会）</p> <p>■行政・社協・学校との連携 *居場所を必要とする子どもを子育て支援室、コミュニティソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカーと学校が連携し、子どもの居場所につなげている</p> <p>【北区社会福祉協議会】</p> <p>■会館のない地域での居場所事業を「銭湯」（7月9日）と「マンションの多目的室」（1月27日）で開催に向けた支援を行った</p> <p>■「子どもの居場所事業」の交流会を開催（1月9日）</p>	<p>■居場所を必要とする地域への支援継続</p>	<p>■区社協と連携し地域の居場所づくりを検討していく</p> <p>■委託事業としての運営について、助言を行っていく</p>
3. 災害時にも支え合えるつながりづくり	①地域での要援護者支援体制づくり ②日常的な見守りの強化	<p>【北区社会福祉協議会へ委託】</p> <p>■全地域へ同意書を発送し、地域の支援者と共に未同意者を訪問し、地域団体名簿の提供など、要援護者支援体制づくりの取り組みを進めている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全地域への名簿提供を完了 ・地域の各種団体等に同意確認の進捗状況や名簿の提供時の取扱い、要援護者支援体制等の説明を51回実施 ・未同意者への訪問調査を継続 ・名簿提供済み地域より随時追加の同意書を送付 ・名簿を活用した防災訓練の実施 <p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <p>■個人情報保護に関する研修会の開催（2月）</p> <p>■マンションコミュニティ支援事業を通じ、各マンションの特性に応じた防災講座や防災の基本ルールづくり、避難訓練などの支援の場で、区の福祉施策を案内し、高齢者・障がい者・子どもの日常的な見守りを呼びかけた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災講座実施 42棟にヒアリングを行い、24棟600名を支援 ・基本づくりルール検討会等実施 9棟（のべ20回） ・北区防災フォーラム開催（2月） <p>■「大阪北区 ジシン本」の活用による防災意識の向上を図った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助の意識を高めた ・ミニ講座を北区役所区民交流プラザで開催 ・基礎講座、応用講座を区役所及び地域に出向いて76回開催した 	<p>■見守り活動のための同意確認の推進</p> <p>■名簿を活用したゆるやかな見守り活動の検討</p> <p>■防災講座の継続実施</p>	<p>■同意された方を含めた、地域の見守り体制の充実</p> <p>■地域での防災訓練等を通じた災害時の要援護者支援体制づくりの推進</p> <p>■名簿所有者に対する学習会の実施</p> <p>■マンションコミュニティ事業を通じた福祉施策の周知と日常的な見守りの呼びかけ継続</p>
	③災害ボランティアセンターの機能強化	<p>【北区社会福祉協議会】</p> <p>■災害ボランティアセンターの機能強化に向けて取り組んだ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営シュミレーション研修 3回実施（ボランティア・NPO・企業などとの協働） <p>■災害ボランティア運営支援者養成講座を開催し、災害時協力者登録をすすめた</p> <p>■地域や、学校等と連携した防災訓練・防災講座を開催した（23回）</p> <p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <p>■区役所と区社協の合同防災訓練を実施することにより、具体的な課題が見つかった（12月1日）</p>	<p>■住民や職員のボランティアセンター機能の理解の促進</p>	<p>■北区役所と北区社会福祉協議会連携のための合同防災訓練の実施</p>

北区地域福祉計画 令和元年度 達成目標

取り組みの柱	重点目標	平成30年度の成果 (31.3末現在)	令和元年度の課題	達成目標
4. “ふくし”の学びの充実	①学校・地域・企業・各種団体での福祉への理解促進	<p>【北区社会福祉協議会を中心に実施】</p> <p>■福祉の理解促進に向けた福祉教育の実施と交流の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区社会福祉協議会を中心に学校・地域との協働により小・中学校や大学、地域住民・専門学校などを対象に、福祉教育を実施した 全23回1,695名 ・北区社会福祉協議会で職場体験学習を実施 中学校 1回 ・障がい者理解のための体験学習を小・中学校で実施した 小学校1回57名、中学校1回103名 ・認知症サポーター養成講座を小・中学校・企業などで開催 22回946名 ・北区社会福祉協議会主催で北区地域福祉講演会を開催(9月11日) 171名 <p>【区】</p> <p>■福祉教育を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区役所転入全職員を対象に認知症サポーター養成講座を実施 41名受講(通算121名) ・認知症サポーター養成講座のアフターフォローとして、認知症アプリをチームサイトに掲載し、全職員が閲覧できるようにした ・北区役所全職員を対象に人権研修でLGBT当事者の講演を実施 184名受講 ・北区役所メッセージソング「あなたとともに」を広く区民に周知するため、手話をつけた ・自立支援協議会従事者研修会を実施し、障がい者とその家族への理解を深めた44名受講 ・区内保育施設・幼稚園・子育て支援施設職員対象の児童虐待対策学習会を開催し、保護者への継続的な支援について理解を深めた 79名受講 	<p>■福祉教育実施に向けた取り組みへの理解の推進の継続</p> <p>■区職員が受講した研修を他の職員が共有できるしくみの継続</p>	<p>■区社協による学校・地域・企業・各種団体へ“当事者性を重視したふくし”の福祉教育の実施内容等の充実</p> <p>■区役所の各課職員に対する福祉教育・ボランティア学習の実施と研修内容の共有を図る</p>
	②ボランティア活動の推進	<p>【北区社会福祉協議会】</p> <p>■ボランティア体験の機会と活動の場の充実が図れた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ボランティア H31年3月末 87人 ・ボランティアグループ H31年3月末 53グループ ・ボランティアカフェの実施(8回) ・北ボラまつり開催 266名(11月11日) ・フードドライブ(8月24日 個人:14、団体:9、1月27日 個人:23 団体:5) <p>【区】</p> <p>■区役所保育所一斉受付時に、女性会による保育ボランティアを実施 2週間で延べ 86名</p> <p>■児童養護施設へ主任児童委員のボランティアについての相談を行った</p>	<p>■継続的なボランティア体験の機会と活動の場の充実の継続</p> <p>■ボランティア参加の推進</p>	<p>■区社協による継続的なボランティア体験の機会と活動の場の継続</p> <p>■ボランティア活動から様々な担い手への発展を促す仕掛けづくり</p>
	③地域理解と地域への愛着心の醸成	<p>【北区社会福祉協議会と区の連携】</p> <p>■小地域福祉活動計画を通して地域理解を深め、福祉意識・地域への愛着心の醸成につながった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画策定後、地域の企業や事業所などの協力を得て地域活動の活性化が見られた ・地域活動の発表や報告の場を持つことで、地域を見直す機会ができ愛着心の醸成につながった <p>■マンションコミュニティ支援事業を通じて、共助のため、マンションのコミュニティ形成と地域のつながりの必要性を呼びかけた</p> <p>■北区地域福祉計画検証にかかるアンケートとインタビューを実施した</p> <p>【区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入者パックを配布し、地域への愛着心の醸成を図った 	<p>■マンション住民をはじめとした転入者への働きかけ</p> <p>■マンションコミュニティ支援事業の継続</p> <p>■転入者への情報発信</p>	<p>■転入者への情報発信を行う</p>

北区地域福祉計画 令和元年度 達成目標

取り組みの柱	重点目標	平成30年度の成果 (31.3末現在)	令和元年度の課題	達成目標
5. 企業や事業所との連携・協働の推進	① 企業や事業所とのネットワークの構築	【北区社会福祉協議会を中心に実施】 ■企業等とネットワークを構築した ・徘徊メール 登録人数 73人、協力団体等 166団体(前年度比+70件) (内, 福祉関係以外43団体) ・防災パートナー登録 92件(前年度比+13件) ・「認知症高齢者等見守りネット事業勉強会及び連絡会」を開催 【区】 ・マンション管理業協会と連携協定を締結し、防災、災害対応や福祉、子育て支援等についての連携協力の体制を整えるきっかけづくりを行った ・各課の企業連携情報を集約し、職員間で連携できるようにした	■企業等との有機的な連携の推進	■認知症徘徊メールや防災活動を通じて、さらなるネットワークの拡充
	② 企業と地域との連携の促進	■企業と地域の連携・協働の推進 【北区社会福祉協議会を中心に実施】 ・小地域福祉活動計画策定後、企業の参画や協働が活性化した ・地域住民と企業との協働による事業の実施が推進された ・子どもの居場所事業と企業との連携（食事の提供） ・フードドライブの実施 【区】 ・里親パネル展（7月18日～7月25日） ・企業・団体・警察・区と連携により児童虐待防止と里親制度のシンポジウム「親子で抱っこ 地域で抱っこ」を実施（11月25日） ・パネル展とシンポジウムで里親相談会を行い、里親登録につながった ・区民カーニバルで里親啓発のブースを設置した	■企業と地域との交流機会の創出	■企業と地域の新たな活動のつながりを推進する
	③ ニーズに対応した福祉サービスの創出	■地域ニーズに対応した新たな福祉サービスの創出への支援 【北区社会福祉協議会と区の連携】 ・子どもの居場所を新たに1か所増やした【家っしー（やっしー）運営協議会へ委託】 ・「子ども食堂」（9か所） 家庭の事情による孤食等の解消の一つとして機能している 【北区社会福祉協議会】 ・障がい児世帯の居場所づくりができた ・ひきこもりの居場所づくりに向けて、元当事者主催の講演会や学習会に参加した 【区】 ・親子の絆づくりプログラム（BPプログラム）をプレ開催（2月4回実施）第1子を子育て中の母の、育児不安を軽減する場づくりを行った	■新たな福祉サービス創出に向けての取り組みの継続	■区社協と連携し、ニーズに対応した、福祉サービスの仕組みづくりを推進する